

臨時災害放送局から新設された 公設民営型コミュニティ放送局の運営

三陸地方（宮古市，大船渡市，気仙沼市）の事例から

山 田 晴 通

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災を契機として東北地方や関東地方の各地に開設された臨時災害放送局は、2018年3月までにすべての放送が終了している。その運用の実態については、既に包括的な報告もあり（例えば、市村，2012，2013：災害とコミュニティラジオ研究会，2014：大内，2018），また多様な学術的事例研究やジャーナリスティックな報告などが公表されている。東日本大震災時の臨時災害放送局の中には、既存のコミュニティ放送局が臨時災害放送局に一時的に移行し、その後また旧に復した事例や、コミュニティ放送局が存在しない自治体に臨時災害放送局が新規に開設されて、一定期間活動した後、廃局となった事例も多い¹⁾。しかし、中には、新設された臨時災害放送局から移行する形で、新たにコミュニティ放送局が開局された自治体もあり、いわゆる「公設民営」型のコミュニティ放送局の可能性を考察する上で、いずれも興味深い事例となっている。

そこで、まず小内（2014，p.13，表6）などを参考に、31局を対象とし²⁾、その後の経過も踏まえた臨時災害放送局の開局後の推移をまとめたところ、新設された臨時災害放送局がコミュニティ放送局に移行した事例は6局あった³⁾。さらに、臨時災害放送局の廃局後、一定の期間において、新たにコミュニティ放送局が立ち上がった事例も3局あり、これを合わせると臨時災害放送局の廃局後に何らかの形でコミュニティ放送局が成立した事例は9局あったことになる⁴⁾。これは、先行してコミュニティ放送局が存在し、後に旧に復した事例が10局、臨時災害放送局の後継局がないまま放送がなくなった事例が10局であったことに比肩する数字である⁵⁾。[表1，表2]

臨時災害放送局から直接コミュニティ放送局に移行したこれら6局は、程度の違いはあれ、いずれも行政の関与が大きいコミュニティ放送局といえる。その中から、本稿では特に、地域的背景に共通性がある、岩手県から宮城県にかけての三陸地方に位置する3局に焦点を当て、各局の運営状況を素描する。これら3局はいずれも、行政が整備し、所有する施設や設備を使って、民間企業や特定非営利活動法人が放送業務をおこなう「公設民営」型のコミュニティ放送局である。

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

表 1 臨時災害放送局の開局後の推移 (2024年3月31日現在)

自治体(地区)	運用期間	コミュニティ放送局名(愛称)	備考
コミュニティ放送局が臨時災害放送局へ移行し、廃局後にコミュニティ放送局が再開した事例：			
花巻市 奥州市 石巻市 塩竈市 岩沼市 登米市 福島市 いわき市	2011.3.11-2011.4.3 2011.3.12-2011.3.29 2011.3.16-2015.3.25 2011.3.18-2013.9.26 2011.3.20-2014.3.31 2011.3.16-2013.3.15 2011.3.16-2012.2.29 2011.3.28-2011.5.27	えふえむ花巻 (FM One) 奥州エフエム放送 石巻コミュニティ放送 (ラジオ石巻) エフエムベイエリア (BAY WAVE) エフエムいわぬま 登米コミュニティエフエム (H@! FM) 福島コミュニティ放送 (FM-POCO) いわき市民コミュニティ放送 (SEA WAVE)	cFMと臨災局を2局同時放送
つくば市 鹿嶋市	2011.3.14-2011.5.13 2011.3.12-2011.6.1	つくばコミュニティ放送 (ラジオつくば) エフエムかしま市民放送局 (FMかしま)	
臨時災害放送局を新設し、その廃局後に移行する形でコミュニティ放送局が新設された事例：			
横手市 宮古市宮古地区 大船渡市 気仙沼市気仙沼地区 名取市	2011.3.12-2011.3.30 2011.3.19-2013.8.25 2011.3.28-2013.3.30 2011.3.22-2017.6.26 2011.4.7-2015.2.28	横手コミュニティFM放送 (横手かまくらFM) 宮古エフエム放送 (みやこハーバーラジオ) 防災・市民メディア推進協議会 (FMねまいらん) ラジオ気仙沼 (ぎよっとエフエム) エフエムなとり (なとらじ801)	2011.4.1開局 2013.8.26開局 2013.4.5開局, NPO 2017.7.1開局 2015.3.1開局 = NPO: 2022.7.1開局 = 株式会社 2013.4.1開局, NPO
高萩市	2011.6.8-2013.3.31	たかはぎFM	
臨時災害放送局を新設し、その廃局後に一定の期間を置いてコミュニティ放送局が新設された事例：			
大崎市	2011.3.15-2011.5.14	おおさきエフエム放送 (OCR FM835)	2013.6.15開局, NPO, 旧愛称=びつきエフエム
須賀川市 亘理町	2011.4.7-2011.8.7 2011.3.24-2016.3.24	こぶろ須賀川 (すかがわFM・ULTRA FM) エフエムわたり	2019.1.11開局 2018.11.27開局: 2023.10.1放送休止: 2024.3.31廃局
臨時災害放送局を新設し、その廃局後に隣接する地域のコミュニティ放送局の放送範囲に編入された事例：			
宮古市田老地区 気仙沼市本吉地区	2011.5.31-2014.3.31 2011.4.22-2017.6.26		「宮古エフエム放送」放送エリアへ編入 「ラジオ気仙沼」放送エリアへ編入
臨時災害放送局を新設し、その廃局後に放送局が設けられなかった事例：			
釜石市 陸前高田市 大槌町 南三陸町 女川町 山元町 相馬市 南相馬市 富岡町 取手市	2011.4.7-2017.3.31 2011.12.10-2018.3.16 2012.3.31-2016.3.18 2011.5.17-2013.3.31 2011.4.21-2016.3.29 2011.3.21-2017.3.31 2011.3.30-2014.3.31 2011.4.15-2018.3.25 2012.3.11-2018.3.30 2012.8.1-2013.1.31		送信所, 演奏所は郡山市に存在

表2 東日本大震災による臨時災害放送局から移行新設されたコミュニティ放送局の概要 (2024年6月30日現在)

自治体 (地区) 呼出符号 / 周波数 / 送信出力	コミュニティ放送局名 (愛称) 中継局	開局, 形態 ウェブサイト
横手市 OZZ2BC-FM/77.4 MHz/20 W	横手コミュニティ FM 放送 (横手 かまくら FM) 10 か所	2011. 4. 1 開局, 株式会社 https://fmyokote.com
宮古市宮古地区 JOZZ2BI-FM/82.6 MHz/20 W	宮古エフエム放送 (みやこハーバ ーラジオ) 7 か所	2013. 8. 26 開局, 株式会社 http://miyakofm.com
大船渡市 JOZZ2BG-FM/87.5 MHz/20 W	防災・市民メディア推進協議会 (FM ねまいらん) なし	2013. 4. 5 開局, NPO https://fm-nemaline.com
気仙沼市気仙沼地区 JOZZ2BO-FM/77.5 MHz/20 W	ラヂオ気仙沼 (ぎょっとエフエム) 2 か所	2017. 7. 1 開局, 株式会社 http://kfm775.co.jp
名取市 JOZZ2BL-FM/80.1 MHz/20 W	エフエムなとり (なとらじ 801) 2 か所	2015. 3. 1 開局 = NPO : 2022. 7. 1 開局 = 株式会社 https://www.natori801.jp
高萩市 JOZZ3BX-FM/76.8 MHz/20 W	たかはぎ FM なし	2013. 4. 1 開局, NPO http://t768.net

I. 岩手県宮古市：宮古エフエム放送 (みやこハーバーラジオ)

前身となった臨時災害放送局

2013年8月26日に開局した岩手県宮古市のコミュニティ放送局である宮古エフエム放送 (JOZZ2BI-FM) は, 2011年の東日本大震災を契機として開設された臨時災害放送局である「みやこさいがいエフエム」(JOYZ2U-FM) と「みやこたろうさいがいエフエム」(JOYZ2AJ-FM) を前身としている。これら2局の臨時災害放送局は, 前者を事実上の本局とし, サイマル放送をしていたので, 以下では特に断りのない限り, みやこさいがいエフエムへの言及をもって両局を代表させることとする⁶⁾。

宮古市の事例で注目されるのは, 臨時災害放送局に先行して, イベント放送の開設を目指した取り組みが進行していたという事実である。もともと宮古市のヨットハーバー「リアスハーバー宮古」では, 特定非営利活動法人いわてマリンフィールドによって, 2006年から行事の際にミニFMが実践されることがあったが, 宮古市が2011年全国高等学校総合体育大会 (インターハイ) のヨット競技とレスリング競技の会場となることが決まったのを受けて, イベント放送をおこなおうという機運が高まり, その担い手として2010年8月1日に

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

任意団体として宮古コミュニティ放送研究会が設立された。岩手県立大学宮古短期大学部教授であった菊池幸吉を初代会長としたこの研究会は、緊急雇用創出事業を利用して、専任の職員を雇用していた（菊池，2014，p.6）。研究会は、2011年1月の時点で、陸中建設株式会社代表の伊藤敏を会長とし、陸中ビル（宮町1丁目）に事務所を構えてイベント放送免許申請事務にあたるとともに、2012年をめどにコミュニティ放送を立ち上げることを視野に入れて活動していた⁷⁾。また、ネットラジオを立ち上げて、宮古市内のイベント情報やインターハイ関連行事の配信を始めていた。

3月11日に東日本大震災が発生し、宮古コミュニティ放送研究会は18日、及川育男、橋本久夫らが、宮古市長の山本正徳に臨時災害放送局の開設を要請、19日には総務省から免許が下り、20日の試験電波の発射を経て、22日にみやこさいがいエフエムとして周波数77.4MHz、空中線電力20Wでの放送開始に漕ぎ着けた。演奏所は陸中ビル内に置かれて、午前9時30分から午後4時までの生放送がおこなわれ、午後6時ころから再放送が流された（菊池，2014，p.7）。この時点で宮古コミュニティ放送研究会は、会長の伊藤敏をはじめ、及川育男、橋本久夫、佐藤省次が中核メンバーとして運営にあたっていた⁸⁾。

放送には、市内外から様々な支援が寄せられた。日本財団は早い段階で資金提供し、機材の調達を可能にした⁹⁾。また例えば、2011年6月に岩手コミュニティFM連絡会を立ち上げて事務局を引き受けることになる花巻市のえふえむ花巻（FM One）の落合昭彦は、みやこさいがいエフエムを発足当初から支援し「スタッフにアナウンス技術や報道のノウハウなどのアドバイスをし」ていたし、県域AM局であるIBC岩手放送は、積極的に圏内の臨時災害放送局との連携を図って情報収集、発信に取り組み、後には2012年5月1日にいわて災害コミュニティメディア連携・連絡協議会を立ち上げた¹⁰⁾。さらに、沖縄出身のフリーアナウンサー吉田鉄太郎らが、パーソナリティに加わった¹¹⁾。

当初は避難所などにラジオが足りないという状況があり、放送でラジオ受信機の寄付を呼びかけたところ、新品・中古合わせて2万台ものラジオ受信機が集まり、スタッフがその整理、修理、避難所や希望者宅への配給などに忙殺されるという事態も生じた。

菊池（2014，p.9）によれば、臨時災害放送局の放送内容は、「当初はライフライン、避難所、安否確認の情報を提供してきていたが、次第に仮設住宅、各種手続き、義援金等の情報に移っていき、加えて復興計画、各種イベントの案内が増えていくといった状況であった。2012年以降は、仮設住宅、義援金といった情報提供は少なくなっていく、行政情報、生活情報、求人情報を提供するようになっていった。」という。

状況が徐々に落ち着いていく中で、関係者の間では、臨時災害放送局をコミュニティ放送局へと移行させようという機運が高まっていった。2012年6月、宮古市は、総務省の補助を受けた「ICT地域のきずな再生・強化事業」によるコミュニティ放送局の施設整備に着手した¹²⁾。これを受けて、2013年3月22日に、宮古エフエム放送株式会社が、及川育男を

Time Table

当面の番組表です。変更になる場合も
ありますので、ご了承ください。

82.6MHz

みやこハーバーラジオ
Miyako harbor Radio

Time	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	Time	土曜日	日曜日
5:00	Morning Stream					5:00	森野の目まじらしラジオ	杉狂神の「Here Comes The Sun」
6:00	Morning Community					5:25		みずみさんと明るいうへ
7:00	おはよう瀬風ラジオ さわやかな一日の始まり! 宮古の情報を瀬風にのせてお送りします! 7:05 / 8:30 天気情報 7:15 / 新聞拾い読み 7:35 / 交通情報 7:40 / おはよう市役所 7:20 ~ 日替わりコーナー					7:00	おはようサタデー ひのきしんじ・本間千代子	おはようサンデー 浜菜みやこ
生放送	月 いってらっしゃい 火 あの花この花 水 すくすくみやこキッズ 木 大仙ホットライン(FMはち) 金 レッツゴーフィッシング 8:00 ~ 今日のお宮古の海はなあと? 8:40 ~ CFM 中継: 室蘭ホットライン (FMひゅー) 8:55 防災インフォメーション					生放送	8:00 土曜の朝だよ! 天気・道路・交通情報	日曜の朝だよ!
9:00	マイフレイリスト 月 懐かしの曲 火 演歌・民謡 水 ヒットソング 木 洋楽 金 アラカルト					8:30	土曜の朝だよ! / イベント情報等	おはようサンデー 浜菜みやこ
10:00	リメンバーミュージック					9:00	Radio Leader's 小林咲夏	グッ★モニ 橋しんご
11:00	リメンバー ミュージック	金澤未咲 スマイルボイス	大橋美加の Nice N' Easy タイム(再)	リメンバーミュージック	リメンバーミュージック	10:00	Brand-New Saturday かとうみちこ・高橋あさみ	ロコラバ -LoCo Lovers-
11:30		リメンバーミュージック				11:00		
12:00	ひろなび 826 お昼時間に聴いて得する情報満載! 13:00 ~ 日替わりコーナー 月 教えてケロケロ! みやこの福祉! 火 学校だより! 水 宮古文化研究所! 木 あなたも挑戦! 宮古クイズ! 金 第1・3「Dolce Tempo! (ドルテン!)」 第2・4「ソメゴドボ〜ノ」					12:00 / 天気情報、交通情報 12:10 / 新聞拾い読み 12:15 / 市役所からこんにちは 12:30 / ゲスト&情報 13:00 / 天気情報 13:35 / イベント情報等〜	12:00	ルードインホテルズ presents おせつときょうたの 「ラジオにチェックイン」
生放送						12:30	高嶺のなでしこの アイドル授業中!	川久保秀一・横田香峰
14:00	リメンバーミュージック					13:00	あゝ頃青春グラフィティ	Welcome To SHOGI World 駒テラスへようこそ 岡野美和子
15:00		アフタヌーンパラダイス	さんりく元気ラジオ/ アフタヌーンパラダイス	アフタヌーンパラダイス	@FRIDAY!	14:30	岡野美和子	みんなのサンデー-防災 自黒公郎・黒瀬智恵 Top Runner-未来に続く道- 中辻景子・八木橋育子
16:00		アフタヌーンパラダイス			くりやまけーすけ 内田ゆめ	15:00	SATURDAY SUPER LEGEND ARCHE	ロック裁判所 ひろこの音部屋
17:00	ラジオサンセット 夕方に楽しいトークとお役立ち情報をたくさんお届けします! 18:30 ~ 日替わりコーナー 月 趣味人 火 第1「街角散歩ラジオ」 第2・4「ヨムヨムタイム」 水 多文化共生ラジオ 木 「弁護士吉水和也のラジオ法律相談所」 金 「みやこみんなの声/レコメンドアワー」					17:00 / 18:00 天気情報 17:10 / 新聞拾い読み 17:15 / 月 わんにゃんアカデミア 木 ほにほにおどけこ川柳 金 第1・3 産直いちばのオガタイム!! 17:30 / 市役所からのお知らせ 18:10 / 交通情報	17:00	THE STEPHANIES SHIRO の SEA SIDE SONG
生放送						17:30	SATURDAY BAYTOWN MUSIC	船江淳のファンミュージックアワー スタレビの星になるまで
19:00	コミュニティ発 全国放送	小田代直子の 三陸ゆめみなと	サウンドウィッチマンの ラジオやらせろ	週刊Nobbyタイムズ	コミュニティ発全国放送	18:00	たーなー先生の夢ナカRADIO	大石吾郎Premium G 大石吾郎・峠恵子
19:30	-DAIKUの Inclusive Monday- (無料音では受けられないこと)	19:30~ Emilyのおしゃれアワー	ジネットリオ		DJNobby's Tokyo LIME	18:30	スーパーステーション! ~井上君のprecious moment	E-LOUNGE MUSIC PLACE
20:00	DABI ARISA	アワ・ヒット・ パレード	ミュージックデリバリー	福岡県青年学生放送アワー 放送でコロコロ時代の進歩(再) いってらっしゃい、おかしな(再)	お台場 レインボーステーション	19:00	大塚商会 presents Kazu Yoshida's BOSSAMANA 吉田和雄・河村由美	立花裕人
21:00	THE NITE 大西貴文					20:00	牧山純子サウンドマリーナ	PRESIDENT STATION 金子一也・川越塔子
22:00						21:00	アーティスト・コレクション	Sound of Oasis ~GOOD PERSON~/カノン
23:00						22:00	TABARU Love Emotion TABARU	海蔵亮太のニューラジオ
0:00	K-Sスタジオ	Midnight Comoeata	あのガラ深夜後~ オトナの放課後2時	Echoes of Ishigaki	SHINGO'S RADIO SHOW Night Fever	23:00	RADIO BOHEMIA ロート・ハリス FM おたわら	Music Hot Flavor
1:00	コミュニティ発 全国放送ゾーン					0:00	オンラインラジオサロン 「まちよりの部屋」	あかねサステナブル ~サムライジングSpecial~
2:00						0:30	ゲーム・BGM環境フルタイム	
3:00	JAZZVOCAL の夜					1:00	本牧ヤグチ 矢口響瑠	吉祥寺アンリミテッド wacciのLive! Live! Live!
4:00	slow life,slow music					2:00	きいやま商店のかっぱぼち	美加のNice N' Easyタイム 大橋美加
						3:00	なべやんのアヒルスパークタイム	真夜中の訪問者
						4:00	Power Up More Nippon 田川まゆみ	花火の星 (FMはちの)
						4:30		吉田マロリーと美蔵な時間

みやこハーバーラジオ 82.6MHz

インターネットの「リスラジ(ListenRadio)」(<http://listenradio.jp>)や「サイマルラジオ」(<http://simulradio.info>)でもお聴きいただけます。

スマートフォンでは、無料アプリ「リスラジ(ListenRadio)」をダウンロードすると聴くことができます。

お便り・リクエストはこちらへ!

メールアドレス: 826@miyakofm.com

TEL: 0193-77-3399 FAX: 0193-77-3936

〒027-0076 宮古市栄町4番地三陸鉄道本社1F

宮古エフエム放送株式会社

図1 宮古エフエム放送 TIME TABLE (2024年4月)

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

代表取締役とし、資本金 2000 万円で設立され、免許申請の準備が進められた。この段階で、市側が施設・機材関係などを所有して宮古エフエム放送に貸与する形を取り、宮古エフエム放送が放送業務全般を引き受けるという役割分担が明確にされた。コミュニティ放送局開設のための一連の施設整備事業の総事業費は、最終的に 3 億 3850 万円という規模になった¹³⁾。

施設整備と並行し、運営にかかるランニングコストについても、宮古市は早い段階で方針を示した。当時の臨時災害放送局の運営経費は年間およそ 2000 万円とされ、国の緊急雇用事業によって賄われていたが、事業の終了を見越し、コミュニティ放送への移行後は年間およそ 1200 万円を市から助成するという見通しが公表された¹⁴⁾。

宮古エフエム放送（愛称：みやこハーバーラジオ）は、事務所と演奏所を宮古駅前の商業施設キャトル宮古（栄町）に置き、2013 年 7 月 24 日に予備免許を交付されて 29 日から試験電波を発射、8 月 15 日に本免許を交付され、8 月 26 日付で 82.6MHz、20W の放送を正式に開始した。これに伴い、みやこさいがいエフエムの放送は 8 月 25 日までで放送を終了した。宮古エフエム放送の開局の時点では、月山送信所（20W）に加え、茂市中継局（20W）と和井内中継局（10W）が設けられ、さらにみやこたろうさいがいエフエムが引き続きサイマル放送を継続した。

宮古エフエム放送への移行以降

宮古エフエム放送は、平日の朝、昼、夕方に帯となる生放送の番組を配置し、さらに収録による自主制作番組も若干配置した上で、フィラーとしてミュージックバードを用いるという番組編成をしている。この構成は、基本的に開局以来ほとんど変わっていない。[図 1]

宮古市は、2020 年に発表した『宮古市総合計画 前期基本計画 2020-2024』の中で「コミュニティエフエム（みやこハーバーラジオ）は、開局から 6 年が経過し、「まちのエフエム」として市民に定着しており、引き続き施設の適切な維持管理が必要です。」と述べ、施策の方向として「…コミュニティエフエム放送施設の維持管理などにより、情報通信基盤の充実を図ります。」と明言している¹⁵⁾。こうした取り組みにより、中継局の再編も順次おこなわれ、中継局は新里中継局（20W）、田老中継局（20W）、千鶏中継局（20W）、新里和井内中継局（10W）、撰待中継局（3W）、堀内中継局（3W）、川代中継局（1W）の 7 局体制となった。なお、宮古市の西部を占める川井地区（旧・川井村）については、既設のケーブルテレビによって放送が供給されており、中継局は設けられていない¹⁶⁾。

コミュニティ放送に関わる事業は、企画課の中で独立した予算枠を確保しており、年間 1600 万円から 1700 万円ほどが宮古エフエム放送に支出されている。それとは別に、市は施設、設備の管理経費を負担しており、それを合わせると年間 2000 万円以上が定期的にコミュニティ放送の維持に使われていることになる。

一方、宮古エフエム放送によると、年間の売り上げは 2200 万円程度だという。この年商



写真1 宮古エフエム放送が入居する三陸鉄道本社社屋
2024年2月9日撮影
(筆者撮影)



写真2 イーストピアみやこ内の宮古エフエム放送のスタジオ
2024年2月9日撮影
(筆者撮影)

で5-6人を雇用するというのが標準的な体制のようである¹⁷⁾。及川によると3-4人の体制では放送を維持するのがやっとで、あまりにも余裕がないといい、営業など、もっぱらパーソナリティ以外の事務を担う職員を確保するためには、5-6人を雇用する必要があるという。パーソナリティは、放送に際してミキサーを置かないワンマン・オペレーションで放送するようになっており、演奏所の設備も、原則としてワンマン・オペレーションで放送が進行するよう設計されている。

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

宮古エフエム放送が開局当初に入居していた商業施設キャトル宮古は、もともと1980年に宮古ファミリーデパート玉木屋として建設された建物で老朽化が進んでいたが、コロナ禍の影響もあって2021年12月10日付で閉店となり、建物も閉鎖されることになった。このため、移転を余儀なくされた宮古エフエム放送は、2022年3月下旬に事務所と収録スタジオを三陸鉄道本社（栄町）の1階東へ、演奏所を宮古駅南側のイーストピアみやこ（宮町1丁目）2階の一角（市民交流センター、旧・音楽室）へ移転した¹⁸⁾。自社制作番組の多くは、イーストピアみやこの演奏所から生放送されているが、三陸鉄道本社の収録スタジオからも直接生放送することが可能になっており、早朝の生放送などに用いられている。収録による番組も、いずれのスタジオでも収録できるようになっている。[写真1・2]

II. 岩手県大船渡市：FM ねまらいん

前身となった臨時災害放送局

2013年4月5日に開局した岩手県大船渡市のコミュニティ放送局FM ねまらいん（JOZZ-2BG-FM）は、2011年の東日本大震災を契機として開設された臨時災害放送局である「おおふなとさいがいエフエム」（JOYZZ2Z-FM）を前身としている。

大船渡市は、元々コミュニティ放送局があったわけでも、開局を視野に入れた動きがあったわけでもなかった。臨時災害放送局開設のきっかけは、震災後の2011年3月22日におこなわれた、奥州市の奥州エフエム放送からの開設提案であった。奥州エフエム放送が放送機材を提供するとともに、総務省への申請手続きについても支援をおこなった結果、3月28日には臨時災害放送局の申請と免許取得がなされ、3月31日から78.5MHz、30Wで放送が開始された。送信所アンテナは今出山避難小屋に設けられ、陸上自衛隊の発電機で電力を供給する体制が、東北電力からの通電が完了した5月12日まで続けられた（大船渡市、2015、p.121）。

臨時災害局を立ち上げはしたものの、当初に用意された機材は限られた範囲のものしかなく、おおふなとさいがいエフエムは機材不足の状態であった。そこで市は、友好都市である神奈川県相模原市に支援を依頼し、同市の企業である日電社がノートPCやマイクなどの機材を提供することとなった。機材は4月下旬から5月にかけて到着した¹⁹⁾。

この間、おおふなとさいがいエフエムは、4月7日に陸前高田市向けの放送をおこなう免許も申請し、これを取得して、8日から80.5MHz、20Wで放送を開始し、12月9日までこれを維持した²⁰⁾。「一つのFM局で異なる周波数による複数地域向けの放送は全国的にもめずらしいとのことであった。」（大船渡市、2015、p.121）

臨時災害放送局の多くは、「免許人である自治体（市町村）が当該地域内で活動するNPOや任意団体に運営を委託するケースで」あったが、大船渡市の事例は、釜石市の事例ととも

に「自治体が直接運営を行うもので」「担当部署の管理監督のもと正規の市職員や臨時職員が機器操作をはじめ原稿づくりやアナウンスを行う」ものであった(野田, 2020, p.53)²¹⁾。ここでいう「担当部署」は、総務部防災管理室であった。

当初、放送には、市職員とともに、集まってきたボランティアが従事したが、やがて「重点分野雇用創出事業により、臨時職員を4名採用し」(大船渡市, 2015, p.121)、体制の安定化が図られた。

おおふなとさいがいエフエムの「放送内容は、市災害対策本部からの情報、ライフライン情報、記者会見・広報等の情報、各種団体からの店舗再開・各種行事・生活情報等、大船渡のニュース、天気予報等の生活に密着したもので、市民への周知の効果は大きかった」と評価されている(大船渡市, 2015, p.121)。

FM ねまらいんへの移行以降

上述のように、大船渡市の事例は「自治体が直接運営を行うもの」として突出したものであったが、臨時災害放送局からコミュニティ放送局への移行についても、他に類例を見ない特殊な背景の中で、移行が速やかにおこなわれた。おおふなとさいがいエフエムは、2013年3月30日付で閉局し、4月5日付で後継局としてコミュニティ放送局 FM ねまらいん(JOZZ2BG-FM)が、周波数を変更した87.5MHz, 20Wで開局した。これは、前身局のない臨時災害放送局がコミュニティ放送局へ移行した事例としては、4月1日に開局した茨城県高萩市のたかはぎFM(JOZZ3BX-FM)に次ぐもので、東北地方では最初の事例であった²²⁾。

コミュニティ放送局への移行が急がれた背景には、一つには、臨時災害局の設置期限についての総務省側の姿勢があった。当時は「臨時」の措置を長引かせることを巡って、様々な見解があり、概ね1年で再免許申請を行うことが求められていた。おおふなとさいがいエフエムも、2012年2月下旬に一度再申請をおこない、2013年3月31日まで免許期間を延長していたが、総務省側の姿勢は、これを何度も繰り返すのは難しいという認識を与えていた。これは移行を急がせる一般的な背景であった²³⁾。

もう一つの背景は、大船渡の事例に固有のもので、当時進められていた「大船渡地域内ネットワーク(IP-VPN)」の実験との関係である。この実験は、NTTグループのNTTPCネットワークが大船渡市とともに主導し、2011年11月から2012年10月末終了の予定で「防災・市民メディア実証実験」としておこなわれたものであった²⁴⁾。この実験は、メインサーバを市役所内の臨時災害放送局の施設と同所に置き、市役所内外の各種システムや、市内の小中学校なども組み込み、臨時災害放送局への割り込み放送も取り込んだもので、実験終了後もそのまま実装されることを目指しており、実験期間中の2012年8月1日には、この事業の受け皿として特定非営利活動法人防災・市民メディア推進協議会が、地元企業を中心

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

とした法人会員を集めて立ち上がった。NPO 法人の初代理事長には、地元の有力な日刊地域紙『東海新報』の社長であった鈴木英彦（1942-2020）が就任し、同社内に法人の事務局が置かれた。

防災・市民メディア推進協議会は、地域内ネットワークの事業と一体化したシステムの一部として臨時災害放送局の業務も抱き合わせで引き継ぐこととなり、コミュニティ放送局を立ち上げることとなった。コミュニティ放送局への移行に合わせ、大船渡市は「総務省の情報通信技術利活用事業費補助金（ICT 地域のきずな再生・強化事業）を活用して放送設備を整備し」た²⁵⁾。

コミュニティ放送局の登録上の演奏所は、臨時災害局以来の放送機材が置かれた市役所内とされたが、実質的な放送スタジオは、法人本部と同じく東海新報社内に設けられた。[写真 3・4]

ところが、地域内ネットワークの事業は、技術的問題を抱え、程なくして頓挫してしまう。Jアラート（全国瞬時警報システム）などの、コミュニティ放送への割り込み放送も、地域内ネットワークを介しておこなわれていたため、いつしか機能しなくなった。結果的に、地域内ネットワークは事業自体が立ち消えとなり、防災・市民メディア推進協議会は、もっぱらコミュニティ放送局の運営のみにあたることとなった。事前の計画で、ある程度のキャッシュフローが見込まれていた地域内ネットワーク事業を失ったことは、法人にとって大きな誤算であった。

それでも、開局から数年間は、国からの助成金などを活用して人件費が賄われ²⁶⁾、比較的余裕のある財務状況の中で外部に制作を委託する番組なども存在した。しかし、2018 年ころには、経営上の困難が表面化し、以降、放送局長の交代、職員の入れ替わりなどが続き、一時期は放送局長不在の状態にも陥った。法人の鈴木英彦理事長は、事態の立て直しを期し、2018 年頃から週 2 回番組を担当するようになっていた一関市在住の長田信也に白羽の矢を立て、2020 年に長田を 3 代目の放送局長とした。長田は、折からのコロナ禍の中で、業務の見直しなどに着手し、体制の立て直しを図った。その結果は、番組編成にも反映され、自主制作番組が圧縮されるとともに、フィラーの比重が拡大することとなった²⁷⁾。[図 2]

この間、大船渡市は、2014 年（平成 26 年度）より、広報予算から年間およそ 340 万円から 370 万円の委託料を提供したが、2022 年（令和 4 年度）以降は 300 万円を切る水準に圧縮されている。傾向的に委託料が圧縮されてきている背景には、LINE、Facebook、X などの SNS による情報発信へ予算を振り向ける必要が生じていること、コミュニティ放送の広報効果について把握が難しいことなどがあるという。

一方、FM ねまらいいによると、年間の総収入は、およそ 1400 万円ほどであるという。また、法人の会費収入は、年間およそ 200 万円弱の水準にある²⁸⁾。雇用している正職員は、放送局長を含めて 3 名、他にパートタイマーが数名、いずれもパーソナリティを務めており、



写真3 FMねまらいんが入居する東海新報社社屋
2024年2月7日撮影
(筆者撮影)



写真4 東海新報社内のFMねまらいんのスタジオ
2024年2月7日撮影
(筆者撮影)

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

大船渡コミュニティFM ねまらいん

岩手県大船渡市のコミュニティFM ラジオ局。FM 87.5MHzで放送中。



会社概要 広告料金 お問い合わせ

- トップ TopPage
- 番組表 Guide
- 番組DJ DJ
- ねまらいんとは About

番組表

月	火	水	木	金	土	日
7:01 天気予報 7:05 全国ニュース 7:10 交通情報 7:20 暮らしのネットワーク 7:25 交通取り組み情報 7:30 交通情報 7:40 東海新報ニュース 7:45 今日の運勢 7:50 交通情報 7:54 気象情報ラジオ特撮	7:01 天気予報 7:05 全国ニュース 7:10 交通情報 7:20 暮らしのネットワーク 7:25 交通取り組み情報 7:30 交通情報 7:40 東海新報ニュース 7:45 今日の運勢 7:50 交通情報 7:54 気象情報ラジオ特撮	7:01 天気予報 7:05 全国ニュース 7:10 交通情報 7:20 暮らしのネットワーク 7:25 交通取り組み情報 7:30 交通情報 7:40 東海新報ニュース 7:45 今日の運勢 7:50 交通情報 7:54 気象情報ラジオ特撮	7:01 天気予報 7:05 全国ニュース 7:10 交通情報 7:20 暮らしのネットワーク 7:25 交通取り組み情報 7:30 交通情報 7:40 東海新報ニュース 7:45 今日の運勢 7:50 交通情報 7:54 気象情報ラジオ特撮	7:01 天気予報 7:05 全国ニュース 7:10 交通情報 7:20 暮らしのネットワーク 7:25 交通取り組み情報 7:30 交通情報 7:40 東海新報ニュース 7:45 今日の運勢 7:50 交通情報 7:54 気象情報ラジオ特撮	7:01 天気予報 7:05 全国ニュース 7:10 交通情報 7:20 暮らしのネットワーク 7:25 交通取り組み情報 7:30 交通情報 7:40 東海新報ニュース 7:45 今日の運勢 7:50 交通情報 7:54 気象情報ラジオ特撮	7:01 天気予報 7:05 全国ニュース 7:10 交通情報 7:20 暮らしのネットワーク 7:25 交通取り組み情報 7:30 交通情報 7:40 東海新報ニュース 7:45 今日の運勢 7:50 交通情報 7:54 気象情報ラジオ特撮
8:00 天気予報 8:05 全国ニュース 8:10 交通情報 8:20 東海新報ニュース 8:30 交通情報						
9:00 天気予報 9:05 全国ニュース 9:10 交通情報 9:40 ままらじ						
10:00~12:00	STEP ONE					
13:00~18:00	GOOD NEIGHBORS					
18:00~18:50	GRAND MARQUEE					
18:50~19:00	HOMETOWN	HOMETOWN	HOMETOWN	HOMETOWN	HOMETOWN	HOMETOWN
19:00~19:05	JAM THE PLANET					

リクエスト・メッセージはこちらから >>>

どこでも聞ける FMねまらいん 公式アプリを今すぐ!!

ダウンロード

87.5 FMねまらいん

Now ON AIR!

FM 87.5MHz
大船渡エリアで放送中!

NPO法人
防災・市民メディア推進協議会

所在地 〒022-0002
大船渡市大船渡町字豊頭9-1
東海新報社 2F

TEL 0192-47-4755
【受付時間】朝9:00 ~ 夕方6:00

Fax 0192-47-4766

>>お問い合わせはこちら

広告料金について

番組審議会
番組審議会からのお知らせ
番組表
広告料金
メッセージでの番組参加についてのお断り

番組表 番組DJ ねまらいんとは お問い合わせ

Copyright © FMねまらいん. All Rights Reserved.

図2 FM ねまらいん番組表 (2024年7月アクセス)

事務や営業活動の専従者はいない。なお、演奏所の設備は、パーソナリティ単独のワンマン・オペレーションが可能になっている。

III. 宮城県気仙沼市：ラヂオ気仙沼

前身となった臨時災害放送局

2017年7月1日に開局した宮城県気仙沼市のコミュニティ放送局ラヂオ気仙沼（JOZZ-2BO-FM）は、2011年の東日本大震災を契機として開設された臨時災害放送局である「けせんぬまさいがいエフエム」（JOYZ2X-FM）と「けせんぬまもとよしさいがいエフエム」（JOYZ2AH-FM）を前身としている。これら2局の臨時災害放送局は、前者を事実上の本局とし、インターネットのサイマルラジオの内容を自動的に放送していたので、以下では特に断りのない限り、けせんぬまさいがいエフエムへの言及をもって両局を代表させることとする。

気仙沼市は、元々コミュニティ放送局があったわけではない。東日本大震災が3月11日に発生してから1週間後に、複数の人物が気仙沼市長である菅原茂（b.1958）に働きかけたのが、臨時災害放送局開設のきっかけであった。この間の経緯について、市村（2012, pp.127-128）は、次のように述べている。「宮城県登米市の「登米エフエム（H@! FM）」の放送局長の齊藤恵一氏は、隣接の気仙沼市および南三陸町の臨時災害放送局の立ち上げを支援した。齊藤氏は気仙沼市の出身である。3月18日、齊藤氏は気仙沼市の菅原茂市長を訪ね、臨時災害放送局設立を協議した。以前、齊藤氏が勤務していた地元のケーブルテレビ局「気仙沼ケーブルネットワーク」の局舎は津波によって500メートル流され全壊。防災無線も大きな被害を受けていた。このため菅原市長が臨時災害放送局開設に同意。局の運営は市内で無線設備業を営む昆野龍紀氏らに委託することとなった。昆野氏は登米エフエムに協力を求め、登米エフエムからスタッフが気仙沼に入って開局を手助けした。」

菅原市長と昆野龍紀（b.1958）は宮城県気仙沼高等学校の同期生、齊藤恵一（b.1959）²⁹⁾はその1年後輩であり、3人は旧知の間柄であった。昆野は、漁業無線などを扱う株式会社昆野無線の代表取締役で、気仙沼船舶無線工業会会長なども務める地元商工界の名望家であり、コミュニティ放送の開局に必要な無線技術者の資格を既に保有していた。また、かつて1990年代には、青年会議所でコミュニティ放送について研究した経験もあった。昆野によると、昆野自身が臨時災害放送局の開設を菅原市長へ進言しに出向いたところ、同日の直前に齊藤が来て同趣旨のことを言っていたとして、直ちに話が進んだという。臨時災害放送局開局の具体的な実務は、商工課に委ねられた。

けせんぬまさいがいエフエムは3月22日に免許を受け、翌23日に開局して、77.5MHz、30Wで放送を開始し、さらに4月22日には、旧・本吉町地域を対象に、けせんぬまもとよ

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

しさいがいエフエムが、76.8MHz、20Wで放送を始めた。免許を受けた気仙沼市から委託されて、実際の運営にあたったのは、昆野が代表を務め、2000年2月29日に特定非営利活動法人として設立認証されていた気仙沼まちづくりセンターであった³⁰⁾。

開局に当たり、必要とされた機材は、登米コミュニティエフエムや、岩手県花巻市のえふえむ花巻（FM One）から提供され、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部（気仙沼市赤磐五駄鱈）内の防災センター訓練棟2階に演奏所が設けられた。また立ち上げの時点では、日本財団の支援金が資材調達資金として活用された。[写真5]

けせんぬまさいがいエフエムは、各種の行政情報のほか、生活情報なども生放送で流し、夜間は再放送を流す形で24時間体制の放送をおこなった。2011年8月6日からは、住宅地の一角にある民間の事務所（気仙沼市松崎萱）に演奏所を移転して、放送を続けた。[写真6]

10月からは、緊急雇用創出事業の資金を用いてスタッフの雇用を図るなど、設備や業務委託内容の充実のために様々な公的資金が投じられた。当初は2013年3月末までとされていた臨時災害放送局の免許期間は更新が重ねられ、他の臨時災害放送局が閉局して放送がなくなったり、あるいはコミュニティ放送局へ移行していく中、6年3か月余りにわたって放送が維持された。

臨時災害放送局としての放送が長期間に及んだ背景には、コミュニティ放送への転換が目指されるようになりつつも、その具体的な準備が容易には整わなかったという事情があった³¹⁾。そうした中で、2016年11月7日には、気仙沼まちづくりセンターに関わっていた地元の有志4名の出資によって株式会社ラヂオ気仙沼が設立された³²⁾。資本金はわずか350万円であった³³⁾。気仙沼まちづくりセンター代表の昆野は、このうち150万円を出資して筆頭株主となり、代表取締役となった。

また、この間、「国の復興交付金を活用した基盤整備として」およそ1億円を投じて中継局の体制が再編されて³⁴⁾、市民の森（渡戸）に親局が出力20Wで置かれるとともに、消防救急デジタル無線基地局（本吉町津谷館岡）内に本吉中継局が20W、小原木公民館（唐桑町館）に唐桑中継局が5Wで整備され、親局と2か所の中継局とも送信周波数が77.5MHzに統一されて、放送区域内の世帯カバー率は合わせて85%ほどとなった³⁵⁾。一連の整備は、コミュニティ放送への移行を念頭におこなわれた。

けせんぬまさいがいエフエムは2017年6月27日をもって廃止され、同日付で改めて、「臨時災害放送局「けせんぬまさいがいエフエム」の放送設備を譲り受け、送信周波数と放送エリアを変えずに運用するもの」として、ラヂオ気仙沼にコミュニティ放送局の免許が、中継局2局の分も含めて下りた³⁴⁾。同日夜には、「FMラヂオ気仙沼開局パーティー」が開かれた³⁶⁾。



写真5 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部内の防災センター訓練棟
2024年1月12日撮影
(筆者撮影)



写真6 けせんぬまさいがいエフエム～ラジオ気仙沼の演奏所である気仙沼市松崎萱の事務所
2024年1月12日撮影
(筆者撮影)

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

ラヂオ気仙沼への移行以降

こうしてラヂオ気仙沼は、2017年7月1日に開局した。愛称は、「ぎょっとエフエム」とされたが、これは港町気仙沼の「魚」と「ぎょっとする情報」をかけたものである。開局時のスタッフは、臨時災害放送局の時点から「倍増」した10名で、年間運営費は約3000万円が見込まれていた³⁷⁾。

これに対し、気仙沼市からは、広報の業務委託料として、初年度には年間1400万円ほどが提供され、向こう5年間をめどに支援が継続されることが表明された。実際には、5年間が経過した後も相当額の委託料が提供され続けている。

これに加えて、市は、市の所有物である放送設備一切の保守管理契約を随意契約によってラヂオ気仙沼に委ねており、これによって（広報予算とは別に）年間およそ200万円がラヂオ気仙沼に支払われるようになった。ちなみに、電波の送信をおこなうために必要な電気料、通信料は市が負担しており、それぞれ年間50万円余りと200万円余りの金額になっている。このように、総じてかなり手厚い行政からの支援を受けた、公設民営型のコミュニティ放送局として、ラヂオ気仙沼はスタートすることとなった。

開局当初のプログラムは、平日の朝と昼にそれぞれ3時間、夕方に2時間の帯番組を配した上で、帯番組の合間に多数の自社制作番組やボランティアによって制作された番組、また、他のコミュニティ放送局との交換番組などが放送される形となっていた³⁸⁾。夜間、早朝のフィラーにはJ-WAVEが流されていた。[図3]

2019年4月、気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザPIER7（気仙沼市南町海岸）が開設され、その一角にラヂオ気仙沼のサテライト・スタジオとして「海のみえるピアセブンススタジオ」が設けられた³⁹⁾。当地は松崎の演奏所よりも、空間的にも立地環境的にも恵まれており、名目上はサテライトでありながら、制作・管理業務とも全面的にこちらに移転して、事実上の演奏所となった⁴⁰⁾。このサテライトへの入居は、市当局から働きかけられたもので、賃料は無償となっている。また、スタジオに用意された放送機材類も、ほとんどが市によって新たに調達されたものであった。[写真7・8]

2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の流行は、ラヂオ気仙沼の番組編成にも影を落とすことになった。臨時災害放送局の時点から関わっていた市民ボランティアによる番組群が、コロナ禍の中で整理されることになったのである⁴¹⁾。2021年1月からは、平日午後7時台に配置されていた自社制作やボランティアによる番組群が一掃され、J-WAVEの再送信に置き換えられて、その後、現在（2024年7月）まで続く基本的なフォーマットが固まった。[図4]

ラヂオ気仙沼は、2017年7月1日の開局と同時に、気仙沼市と防災協定を結んだ。そのおもな内容は、災害時における割り込み放送の実施、通常の放送の中での要請に基づいた災害情報の提供、非常時における避難所やライフラインに関する情報の提供などとなっている。

FM775MHz ラヂオ気仙沼 TIME TABLE 2017/07/01~

インターネット放送配信中心!!

パソコンやスマートフォンでも番組が聴けます。

検索 ラヂオ気仙沼 http://www.kfm775.co.jp

時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
5	ZAPPA 大瀧 幹政(えんか)船 K-information					POP OF THE WORLD ゴヘイラジオ	WONDER VISION
6	直直!朝一便 MC: 月火水木 佐藤りか MC: 佐藤敬				天気情報 7:10~ 8:10~ 9:10~ 全国ニュース 7:30~ 8:30~ 9:30~ 連絡交換情報 7:40~ 8:40~ 9:40~		
7	オネスタイルーム シンケトリオ				天気情報 7:10~ 8:10~ 9:10~ 全国ニュース 7:30~ 8:30~ 9:30~ 連絡交換情報 7:40~ 8:40~ 9:40~		
8	GOOD DAY GOOD DAY MC: 梅田真美子 MC: 菅野紗				平日(月曜日~金曜日) 8:45~(前)K-HiFi(10分間) サンワウツマツのラジオやせらる(前)		
9	ミュージックデリハリ 金田爽のわくわくサワー				平日(月曜日~金曜日) 8:45~(前)K-HiFi(10分間) サンワウツマツのラジオやせらる(前)		
10	KSF RADIO 気仙沼からゴスペルをあなごに(前)				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
11	LAMBLOWの金9 LAMBLOWの金9(前)				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
12	タヤけ ぎよつと倶楽部 MC: 菅原寛子 水田田洋 木村上雄太 一色 法人				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
13	ミュージックデリハリ 金田爽のわくわくサワー				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
14	KSF RADIO 気仙沼からゴスペルをあなごに(前)				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
15	LAMBLOWの金9 LAMBLOWの金9(前)				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
16	タヤけ ぎよつと倶楽部 MC: 菅原寛子 水田田洋 木村上雄太 一色 法人				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
17	ミュージックデリハリ 金田爽のわくわくサワー				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
18	KSF RADIO 気仙沼からゴスペルをあなごに(前)				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
19	LAMBLOWの金9 LAMBLOWの金9(前)				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
20	タヤけ ぎよつと倶楽部 MC: 菅原寛子 水田田洋 木村上雄太 一色 法人				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
21	ミュージックデリハリ 金田爽のわくわくサワー				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
22	KSF RADIO 気仙沼からゴスペルをあなごに(前)				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
23	LAMBLOWの金9 LAMBLOWの金9(前)				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		
24	タヤけ ぎよつと倶楽部 MC: 菅原寛子 水田田洋 木村上雄太 一色 法人				平日(月曜日~金曜日) 11:45~(前)K-HiFi(10分間) MC: 佐藤真美子, 松尾真美子 MC: 菅野紗		

災害時は、チャンネルそのままでも自動で災害情報緊急時の割り込み放送が流れます!
緊急時の割り込み放送とは?
1.地震(津波)発生時 気仙沼市で震度4以上の地震が発生した場合、放送を一時中断して地震・津波情報伝えます。
2.火事、大規模火災発生時 気仙沼市に警報が発生した場合に通常の番組を一時中断して火災情報伝えます。
3.その他(テロの発生等) 突発的な災害が発生し、又は発生のおそれがある時に通常の番組を中断して災害情報伝えます。

Mail gy@kfm775.co.jp
HP http://www.kfm775.co.jp
@kfm775 f ぎよつとPMQ

リクエスト & メッセージ
TEL 0226-25-8470
FAX 0226-25-8471

図3 ラヂオ気仙沼 TIME TABLE (2017年7月)

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営



写真7 ラヂオ気仙沼の「海のみえるピアセブンスタジオ」の外観
2024年1月15日撮影
(筆者撮影)



写真8 ガラス越しに撮影した「海のみえるピアセブンスタジオ」の内部
2024年1月15日撮影
(筆者撮影)

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

割り込み放送は、Jアラートのほか、市役所の危機管理課から放送を入れることができるようになっており、平時から年4回のJアラートの放送テストに加え、年1回の割り込み放送訓練がおこなわれている。しかし、Jアラートはともかく、何らかの緊急事態を踏まえて市から独自の割り込み放送がおこなわれることは、実際にはほとんどないという⁴²⁾。

IV. 考察：公設民営型コミュニティ放送局の課題

以上で検討した3事例は、いずれも東日本大震災で重篤な津波被害を出した沿岸部の小都市で、震災前にはコミュニティ放送局が存在せず、臨時災害放送局の運用を契機として、自治体が施設設備を負担し、民間の事業者が実際の放送に当たる公設民営型のコミュニティ放送局が後から新設された事例であった。その意味では、よく似た条件の下で、ほぼ同時期にコミュニティ放送の運営が始まった、比較対照に適した事例群であるといえる。

3事例の現状を踏まえると、各局の経営状態の安定度は、自治体からの経常的な支援の金額と直結していることが明白である。3事例の中で、最も手厚い支援がおこなわれている宮古市やそれに準じる水準の支援がなされている気仙沼市の事例に対し、大船渡市の事例では不安定な経営状態に置かれているといわざるを得ない。具体的な支援金額の多寡のみならず、行政と放送局の間で明確な役割分担がなされているか否かといった点でも、大船渡市の事例は問題を抱えており、近い将来の施設更新にかかる負担を誰がどのように担うかも明確になっていない。

このような差異が生じる背景には、自治体側のコミュニティ放送への姿勢の違いがある。宮古市ではコミュニティ放送の維持について『総合計画』に明確に盛り込むなど、行政の政策上、コミュニティ放送支援が位置づけられている。また、市長をはじめ、市の関係職員が放送に出演することがあるなど、コミュニティ放送に積極的な姿勢が貫かれている。このような形で現れる行政のコミットメントは、大船渡市の事例ではほとんど見受けられない⁴³⁾。

山田（2000, pp.67-70）でも指摘したように、「自治体であれ、民間の親会社企業であれ、何らかのスポンサーが「投資」と「売上」の両方を支える仕組みがなければ、コミュニティ放送は、実現も永続もしない」（p.69）。コミュニティ放送が制度化から30年を迎えた2022年から翌2023年にかけて、阪神淡路大震災後の1990年代後半に開局し、行政から手厚い支援を受けていたエフエムひらかた（大阪府枚方市）、エフエムもりぐち（大阪府守口市）、エフエムあまがさき（兵庫県尼崎市）の3局が、行政からの支援を失って、立て続けに廃局となったことは、この厳しい現実を象徴的に示すものであった⁴⁴⁾。特に、エフエムひらかたとエフエムもりぐちの廃局は、近畿地方の各局の財務諸表の分析をおこなった杉本（2015）においても、経営的に健闘していることが指摘されていただけに、行政からの支援の決定的な重大性を裏付ける出来事であった。また、必ずしも信頼性が高い数値ではないが、石川

(2016) が、全国 61 局から回答を得たアンケート調査（回収率 30.1%）によれば、「自治体からの補助金」ありとした局は 8.0% で、「自治体からの依託費（広告・宣伝・提供）」ありとした局は 92.0% であったという（石川，2016，p. 48）。多くの事例において，何らかの形で自治体からの資金提供は，コミュニティ放送局の存続に不可欠であると考えられる⁴⁵⁾。

多くのコミュニティ放送局が，自治体からの資金提供に構造的に依存しているのだとすれば，その現実と，放送の公共性，言論の自由といった課題との間には，緊張関係が常に存在することになる。この論点については様々な議論があるが，例えば松浦（2006，p. 344）が指摘するように「これまでの商業資本や政府との距離が近すぎるメディアでは社会運動の担い手に言論の自由が制限され，資本や政府からも離れているメディアにはそれ自体に持続可能性が現在のところ見出しにくい」という状況認識は，依然として有効なものである。そうした中で，基礎自治体という小さな地方政府なり権力が，「公設民営」という形態でコミュニティ放送局を開局させ，またその存続を支えるとき，地域住民，ないし「社会運動の担い手」たちはどのように振る舞うのだろうか。

あるいは，中村（2015，p. 18）が述べるように「放送法が放送の「地域性」を要請している意義は，情報源やメディアの多元性の確保に尽きるものではないはずであり，「産業」としての困難性を孕みつつ法令により高度の地域密着性を要請されているコミュニティ放送は，地域社会における「現代社会の基盤を形成する役割」（「答申」），すなわち，災害という非日常時，とりわけその初期段階において地域住民が「生きていく」ために必要な情報を提供する役割，及び日常の活動を通じて地域社会の「共同性」を再構築し，さらにメディアや放送の「公共性」のあり方を再構築するという独自の役割を担うことを期待されて，「基幹放送」に位置づけられていると解釈されるべき」なのであれば⁴⁶⁾，「地域社会の「共同性」を再構築」するインフラストラクチャー，社会資本としてのコミュニティ放送に対して，基礎自治体はどのように関与し，支援をおこなうべきなのであろうか。これは，正解のない問いかけであり，個別の事例において実践の中で様々な回答が出されている。

金山（2018，p. 40）は，公設民営方式の最初の事例とされる鹿児島県大島郡宇検村のエフエムうけんについての報告の中で，人口 2000 人にも満たないこの村が，「放送局整備の初期費用として 3 千万円，それに加えて年間 300 万円の運営費を負担」していることを指摘している。エフエムうけんの常勤者は 1 名だけであり，公設民営方式のミニマムを体現していると見なせるが，これに比べると，人口 32000 人ほどの大船渡市の FM ねまらいんへの支援水準は，相対的にかなり貧弱なものと評価せざるを得ない。

おわりに

本稿で取り上げた 3 事例が立地する宮古市，大船渡市，気仙沼市は，いずれも東日本大震

災に際して甚大な津波被害を出した、三陸地方沿岸部の小都市である。その被災体験をもとに、地域的情報伝達手段として、コミュニティ放送が注目され、必要性が自治体にも認められて公設民営方式による開局へと至ったという経緯は、いずれの局にも共通している。

コミュニティ放送における災害の「記憶の継承」を主題としておこなわれた金山（2020）の調査に際し、ラヂオ気仙沼の代表取締役である昆野は、災害の経験を繰り返し語り継ぐことの必要性を強調している（p.30）。その思いは、3事例に共有されているところであろう。緊急時における防災メディアとしてのラジオ放送の有効性もさることながら、コミュニティ放送には平時において経験を繰り返し語り継ぐことのできるメディアとしての優位性がある。これは専ら非常時に機能することを前提としている防災行政無線などには期待できない役割である。

ここで「地域経営」の主体としての基礎自治体に問われているのは、地域にコミュニティ放送局が存在し、行政からの声だけでなく、市民からの声が流れる回路が平時から確保されていることの意義をどう評価し、それに対してどのような発想に立って、どのような対処をするのか、より具体的にはどれだけの公的資金を地元のコミュニティ放送局の維持に投じるべきか、という正解のない問いかけである。この問いに対する各自治体の答え方の違いが、各地におけるコミュニティ放送局の様態の違いに反映されている。

本稿で取り上げた3事例は、成立の経緯も地域的背景も類似した、共通性の高いものであったが、基礎自治体とコミュニティ放送局の関係性という点では、様々な差異が生じている。事業としてのコミュニティ放送が何らかの公的支援を前提としなければ持続し難いのだとすれば、基礎自治体の関与がどれほどのものであるべきか、また、どのような形態によるものが考えられるのか、多角的観点からの、さらなる検討が必要とされるだろう。

注

- 1) 村上（2012, p.34）は、臨時災害放送局について「被災した地域やその周辺にCFMがあり、そこが臨災局に移行するなどして運営を担うタイプ」を「移行型」、「全く新たに放送局を新設するタイプ」を「新設型」として議論を進めている。「移行型」は、いずれもその後コミュニティ放送局に復している。
- 2) 市村（2013）は29局、市村（2013）は遅れて開局した茨城県取手市の事例を含む30局を対象として悉皆調査をおこなった報告である。また、小内（2014, p.13, 表6）は、「2013年10月1日現在」として同じく30局を対象に「臨時災害放送局の開局後の推移」をまとめているが、東日本大震災の契機として免許された臨時災害放送局は、さらに2局あった。

秋田県横手市のよこてさいがいエフエム（JOYZ2M-FM）は、2010年9月から12月に放送されたイベント放送・よこてにぎわいイベントエフエム（JOYZ2AQ-FM）が、平成23年豪雪を受けて2011年1月27日に臨時災害放送局として再開され、2月28日で放送を終了した後、東日本大震災の発生を受けて3月12日から再び同一局名で再開し、3月31日まで放送を継続したものである。廃止後には、コミュニティ放送局である横手コミュニティFM放送（JOZZ-

2BC-FM) が4月1日付で開局した。

岩手県山田町のIBC山田災害臨時ラジオは、県域AM放送局である岩手放送の中継局をFMで設けたものであり、2011年3月17日から2015年3月28日まで、臨時災害放送局として存続した後、通常の中継局扱いとされた。

以上の事情を踏まえ、表1では、小内(2014, p.13, 表6)を参考に、市村(2013)、小内(2014)が取り上げた30局に横手市の事例だけを追加し、31局を対象として検討する。

- 3) ただし、この中には、臨時災害放送局の開設に先行して、イベント放送やミニFMの実践などが存在していた例も含まれている。横手市ではイベント放送の運営が先行し(注2)、後述するように宮古市ではイベント放送が計画中であった。また、宮城県大崎市の事例ではミニFMの実践が先行しておこなわれていた。
- 4) 宮城県大崎市の臨時災害放送局おおさきさいがいエフエム(JOYZ2P-FM)は、2011年5月に廃止されたが、この経験を契機としてコミュニティ放送開局への機運が興り、2年余り後の2013年6月15日に特定非営利活動法人おおさきエフエム放送によるコミュニティ放送局が開局した(寺田, 2015, pp.104-108)。おおさきエフエム放送は臨時災害放送局の後継局ではないが、臨時災害放送局の経験と反省を踏まえて開局が取り組まれた事例と考えられる。

また、福島県須賀川市の臨時災害放送局すかがわさいがいエフエム(JOYZ2AD-FM)は、2011年8月に廃止された後、しばらく間を置いて、株式会社こぶろ須賀川が運営する、すかがわFM(愛称:ウルトラFM, JOZZ2BQ-FM)が、2019年1月にコミュニティ放送局として開局している。両者の間には、たまたま両方に関わった人物がいるという以上の関係はなく、すかがわFMは、臨時災害放送局の後継局ではない。ウルトラFMの設立の経緯については、初澤・天野(2020)を参照。

宮城県亘理郡亘理町の臨時災害放送局わたりさいがいエフエム(JOYZ2Y-FM)は、2016年3月24日に廃止されたが、その運営にあっていた特定非営利活動法人エフエムあおぞらを母体として、2017年4月17日に株式会社エフエムわたりが設立され、コミュニティ放送局の免許申請がおこなわれて、2018年11月27日にエフエムわたり(愛称:FMあおぞら, JOZZ-2BR-FM)が開局した。両者は、担い手が共通しており、同じ愛称を用いるなど一定の連続性があった。しかし、エフエムわたりは経営に行き詰まり、2023年9月30日までで放送を休止し、2024年3月31日付で廃局となった。<https://www.facebook.com/fmaozora/>

- 5) 31局のうち、残りの2局、宮古市田老地区のみやこたろうさいがいエフエム(JOYZ2AJ-FM)と気仙沼市本吉地区のけせんぬまもとよしさいがいエフエム(JOYZ2AH-FM)は、後述するように臨時災害放送局の廃止後、それぞれ中継局を介して隣接地域のコミュニティ放送局(宮古エフエム放送, ラヂオ気仙沼)の放送区域に編入された事例である。
- 6) みやこたろうさいがいエフエムは、みやこさいがいエフエムより2ヶ月あまり遅れて2011年5月31日に免許され、6月1日に開局した。免許上は独立した臨時災害放送局であったが、放送内容はみやこさいがいエフエムのサイマル放送であった。みやこさいがいエフエムが宮古エフエム放送へ移行した後もサイマル放送は継続され、最終的に2014年3月31日に閉局した。
- 7) 岩手日報, 2011年1月6日, 12面「FM12年開局視野 宮古コミュニティ放送研究会」
- 8) 日本財団プログ・マガジン「少しずつ明るいニュースも~FM臨時災害放送局「みやこ」」(2011年4月21日) <https://blog.canpan.info/koho/archive/1418>
- 9) 注8参照。

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

- 10) 「INTERVIEW 経験を後世に活かすラジオ放送の在り方とは」『広報みやこ』431（令和5年8月1日号），pp.8-9.
- 11) 注8参照。
- 12) 総務省報道資料（平成24年5月15日）「東日本大震災復興対策「被災地域情報化推進事業」第3回交付決定」https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000047.html
- 13) 「市が放送施設を整備 官民連携であなたの隣に」『広報みやこ』431（令和5年8月1日号），p.5.
- 14) 岩手日報，2013年3月28日，27面「復興最前線 臨時災害FM 地域密着も補助頼み 広告収入の確保不可欠」
- 15) 宮古市総合計画（令和2年3月策定）前期基本計画 第4編 部門別計画 第1章 三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成（PDF p.49）<https://www.city.miyako.iwate.jp/data/open/cnt/3/624/1/09zennki-kibann.pdf?20230320132357>
- 16) 平成の大合併の一環として，2010年1月1日付で宮古市に編入合併された川井村は，2008年2月5日に川井村情報通信基盤基本計画を策定し，2008年から2009年にかけて各種の補助事業をおこなって村内の情報インフラ（川井村情報通信基盤）を一挙に整備した。その中には，全戸加入のケーブルテレビの整備も含まれていた。このため，合併後の川井地区への宮古エフエム放送の提供は，中継局によらず，ケーブルテレビによっておこなわれることになった。旧・川井村の事業については，以下を参照。

総務省「岩手県川井村の事業概要 村内全域に光ファイバ網等を整備」<https://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/hodo/h2104-06/images/0407a1003.pdf>

宮古市「地域情報通信基盤整備推進交付金事業に係る事後評価」<https://www.city.miyako.iwate.jp/data/open/cnt/3/6222/1/jigohyouka.pdf>
- 17) 2024年2月9日の聞き取り時点では，パート1名を含め7名が雇用されていたが，このうち1名は3月退職予定で，6名体制が標準となっていた。
- 18) 移転の日は，公式サイトでは2022年4月1日付となっている。http://miyakofm.com/about_us.html
- 19) タウンニュース相模原中央版「(株)日電社 災害FM局に機材提供」（2011年6月2日）<https://www.townnews.co.jp/0301/2011/06/02/106171.html>
- 20) おおふなとさいがいエフエムによる陸前高田市向けの放送は，2011年12月9日付で終了し，12月10日からはりくぜんたかたさいがいエフエム（JOYZ2AK-FM）が開局し，2018年3月16日まで放送を継続した。しかし，こちらはコミュニティ放送への転換はなされずに，放送は終了した。
- 21) ただし，野田（2020，p.53）は，釜石市のかまいしさいがいエフエム（JOYZ2AC-FM）について，「県域FM局，エフエム岩手の釜石支局内に同居する形で設備やマンパワーが共用され」ていたことも指摘している。「自治体が直接運営を行うもの」としての性格は，放送施設を全て市役所内で完結させていた大船渡市の事例の方が典型的なものであったと考えられる。
- 22) たかはぎFMは，特定非営利活動法人たかはぎFMによって運営が担われている。高萩市は，年間1000万円程度の広報予算のうち，3割強をたかはぎFMへの委託料として負担しているものと思われる。
- 23) 市村（2012，p.134）によれば，「2012年2月現在」，臨時災害放送局のうち「放送を継続して

いる局の免許期間はとりあえず2年間、つまり大半は2013年3月までとなって」いたとされる。

- 24) NTTグループ CSR 報告書2012 [詳細版] (PDF, p.96)。https://group.ntt.jp/csr/data/pdf/csr_report2012_detail.pdf
- 25) 総務省東北総合通信局報道資料「岩手県大船渡市のコミュニティ放送局に免許」(平成25年3月28日) https://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/hodo/h2501-03/0328a1001.html
- 26) 朝日新聞デジタル, 「震災で誕生, 沿岸FM局うまれて10年 防災・地域に一役が存続の道」2023年11月23日。https://www.asahi.com/articles/ASRCQ7DCHRBWULUC019.html
- 27) 2024年2月の時点の番組表と、ネット上でアーカイブとして確認できる2018年4月から9月の番組表を比較している。https://web.archive.org/web/20180706215230/https://fm-nemalin.e.com/image/cbb986ca48d11d53d647671e8bd3ecf3-e1522626506884.jpg
FMねまらいんのフィラーは、開局当初はJ-WAVEだったが、2018年4月からミュージックバードに変更され、2023年4月に再びJ-WAVEに戻った。
- 28) 2024年2月の時点で、年会費30万円の法人会員が6社、年会費1万円の賛助会員が17社であり、個人会員はかつては存在していたが現在はなくなっている。
- 29) 斉藤恵一については、井上ほか(2013)を参照。
- 30) けせんぬまもとよしさいがいエフエムについては、市役所本吉総合支所の職員が業務を担っており、業務委託は発生していなかった。
- 31) 東日本大震災を機に開設された臨時災害放送局のうち、気仙沼市の2局より後まで放送を継続したのは、岩手県陸前高田市と、福島県南相馬市、富岡町の3局だけであった。りくぜんたかたさいがいエフエム (JOYZ2AK-FM) は、2011年12月10日に開局し、2018年3月16日に廃止されるまで放送を続けた。みなみそうまさいがいエフエム (JOYZ2AF-FM) は、2011年4月15日開局、2018年3月25日廃局、また、とみおかさいがいエフエム (JOYZ2AM-FM) は、2012年3月11日開局、2018年3月30日廃局となった。いずれも事例でも、後継局となるコミュニティ放送局は成立せず、廃局とともにFM放送はなくなった。
- 32) 本社所在地は、気仙沼市太田1丁目とされたが、ここは昆野の事務所であり、放送関係の設備などは、その後も置かれていない。
- 33) 350万円という資本金の規模は、コミュニティ放送局を運営する株式会社としては、筆者が管見する限り、最も小さいものである。株式会社の場合、小規模資本の局でも2000万円程度の資本金がないと免許されないのが普通である(山田, 2024, p.15)。実際、昆野がコミュニティ放送局の免許申請のために東北総合通信局と接触した中では、2000万円程度の資本金を積むことを助言された局面もあったという。にもかかわらずラヂオ気仙沼が極端な小資本のまま免許を得た背景には、公設民営方式で施設面を気仙沼市が負担する体制が明確になっていたことに加え、代表者である昆野に無線事業者としての十分な実績があり、東北総合通信局にも信頼される存在だったことがあったものと思われる。
- 34) 三陸新報, 2017年6月27日, 1面, 「7月1日 ラヂオ気仙沼始動」
- 35) 「無線局の概要 申請者 株式会社ラヂオ気仙沼」 https://www.soumu.go.jp/main_content/000492332.pdf
東北総合通信局(平成29年6月27日)「宮城県気仙沼市のコミュニティ放送局に免許」 https://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/hodo/h290627a1001.html

- 36) 三陸新報, 2017年7月5日, 1面, 「萬有流転」
- 37) 河北新報, 2017年7月2日, 「〈ラヂオ気仙沼〉話題ホットに 地域FMで再出発」https://web.archive.org/web/20170713020041/http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201707/20170702_13021.html
ただし別の記事(三陸新報, 2017年6月27日:注33)によれば, 年間コストは約2400万円が見込まれていたとされる。
- 38) ラヂオ気仙沼の番組表は, 開局時以来のものがすべてネット上に公開されている。「ぎょっと通信」<https://kfm775.co.jp/pickup/gyotto20180701.html>
- 39) ラヂオ気仙沼は, この施設の2階にある「ラジオ事務室」「ラジオスタジオ」と1階の「録音室」に入居している。https://www.kesennuma.miyagi.jp/sec/s002/020/030/050/010/090/3103/2019-03-29_machihitosigoto.pdf
- 40) ただし, 高台の上にある松崎の演奏所は, 港のウォーターフロントに位置するサテライトよりも, 災害時には安全であることを考慮し, 津波注意報が出た場合などには, 松崎の演奏所で制作をおこなうこととされている。
- 41) 金(2017, pp.42-44)で紹介された, フィリピン人コミュニティ向けの番組も, この機会に休止となった。
- 42) これは, コミュニティ放送を通して流される緊急の情報量が, 同じく危機管理課が放送をおこなっている防災無線に比べると, かなり限られていることを意味している。例えば, 火災, クマの出没情報, 行方不明人などの案件は, 防災無線では放送されるが, コミュニティ放送への割り込み放送にはならない。
- 43) 大船渡市の事例で行政のコミットメントが希薄である背景の一つには, 一方でコミュニティ放送局の登録上の演奏所が市役所内に設置されていながら, 実質的な事務所, 演奏所が, 市役所から7kmほど離れた市街地から外れた位置に所在するという物理的な距離感があるように思われる。ただし, これを自治体と放送局の心理的な距離感の原因と考えるか結果と考えるかは, 判断が分かれるところであろう。
- 44) 隈元信一「誕生から30年 コミュニティFMの「明」と「暗」好循環をどう回すか」2023年3月7日, 民放online(日本民間放送連盟)<https://minpo.online/article/30fm.html>
2023年3月に廃局となる前の, 尼崎市のエフエムあまがさき(FMaiai)については, 山田(2016, pp.8-9)も参照されたい。
なお, エフエムあまがさきは, 2023年3月に廃局した後, 同年8月に「公益財団法人尼崎市文化振興財団から一般社団法人みんなのあま咲き放送局への放送事業の譲渡に伴う無線局の免許承継」により「免許人の地位の承継」がおこなわれ, 一般社団法人みんなのあま咲き放送局が運営する新たな形態でエフエムあまがさきが復活した。総務省報道資料「コミュニティ放送局「エフエムあまがさき」の免許承継—(一社)みんなのあま咲き放送局への免許承継を許可—」https://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/01sotsu07_01002083.html
- 45) 山田(2024, pp.18-20)で言及した新庄コミュニティ放送(山形県新庄市)のように, 自治体からの資金提供を受けていない局の中には, 支援を求めているながら実現していない局もある。
- 46) 引用中に見える「答申」とは, 2009年の総務省情報通信審議会答申「通信・放送の総合的な法体系に関する在り方(平成20年諮問第14号)」を指す(中村, 2015, p.8)。

文 献

- 石川真弓 (2016) : コミュニティ FM の使命と日本の現状に関する一考察. 日本地域政策研究 (日本地域政策学会), 17, pp. 46-53.
- 市村 元 (2012) : 東日本大震災後 27 局誕生した「臨時災害放送局」の現状と課題. 研究双書 第 154 冊「日本の地域社会とメディア」(関西大学経済・政治研究所), pp. 115-146.
- 市村 元 (2013) : 第 6 章 東日本大震災と臨時災害放送局 : 全 30 局の聞き取り調査から. 丹羽美之・藤田真文 編『メディアが震えた テレビ・ラジオと東日本大震災』, 東京大学出版会, pp. 195-231.
- 井上禎男, 稲葉一将, 中村英樹, 西土彰一郎 (2013) : 地域放送のもうひとつのモデルを求めて : 登米コミュニティエフエム. 福岡大学法学論叢, 58 (3), pp. 571-607.
- 小内純子 (2014) : コミュニティ放送局の推移と今日の状況 : 2003 年以降を中心に. 社会情報 (札幌学院大学), 23, pp. 1-20.
- 大内斎之 (2018) : 『臨時災害放送局というメディア』, 青弓社, 206ps.
- 大船渡市 (2015) : 『大船渡市 東日本大震災記録誌』, 大船渡市, 290ps.
- 金山智子 (2018) : 離島のコミュニティラジオ局にみる儀礼的コミュニケーション : エフエムうけんの事例研究. 島嶼研究 (日本島嶼学会), 19 (2), pp. 151-170.
- 金山智子 (2020) : 災害・災間におけるコミュニティ放送による記憶の継承. 社会情報学 (社会情報学会), 9 (2), pp. 19-35.
- 菊池幸吉 (2014) : コミュニティ放送の災害時の対応について : 宮古市の災害 FM を事例に. 岩手県立大学宮古短期大学部研究紀要, 25, pp. 5-11.
- 金 千秋 (2017) : 被災地の復興における地域メディア FM が果たす役割 : 阪神・淡路大震災から始まった多言語放送とエンパワーメント. 復興 (日本災害復興学会), 20 (8 (2)), pp. 37-45.
- 災害とコミュニティラジオ研究会 編 (2014) : 『小さなラジオ局とコミュニティの再生—3. 11 から 962 日の記録』, 大隅書店, 224ps.
- 杉本俊彦 (2015) : 地域の中で持続するコミュニティ FM の経営条件に関する研究. 創造都市研究 e (大阪市立大学大学院創造都市研究科電子ジャーナル), 10 (1), 19ps.
- 寺田征也 (2015) : コミュニティ放送局の役割と意味付け : 経験的な語りから. 明星大学研究紀要 人文学部, 51, pp. 101-116.
- 中村英樹 (2015) : 基幹放送としてのコミュニティ放送の「公共性」. 北九州市立大学法政論集, 42 (2-3-4), pp. 1-32.
- 野田尚紀 (2020) : 災害情報伝達と復興の一翼を担うラジオ : 「災害 FM」とは何か. 総合政策 (岩手県立大学), 21, pp. 51-57.
- 初澤敏生, 天野和彦 (2020) : 災害時にコミュニティ FM が果たす役割 : 令和元年台風 19 号への ULTRA FM (福島県須賀川市) の対応を例に. 日本地理学会発表要旨集, 97, p. 176.
- 松浦さと子 (2006) : 民主的コミュニティ放送の可能性とデジタル社会 : 社会運動を接地させる地域社会のメディア環境. 社会学評論 (日本社会学会), 57 (2), pp. 330-347.
- 村上圭子 (2012) : ポスト東日本大震災の市町村における災害情報伝達システムを展望する : 臨時災害放送局の長期化と避難情報伝達手段の多様化を踏まえて. 放送研究と調査 (NHK 放送文

臨時災害放送局から新設された公設民営型コミュニティ放送局の運営

化研究所), 62 (3), pp. 32-59.

山田晴通 (2000) : FM 西東京にみるコミュニティ放送局の存立基盤. 人文自然科学論集 (東京経済大学), 110, pp. 59-84.

山田晴通 (2016) : 類例の少ない組織形態 (株式会社, NPO 法人以外) の事業者が運営するコミュニティ放送の実態と背景. コミュニケーション科学 (東京経済大学), 44, pp. 3-26.

山田晴通 (2024) : 2020 年以降に開局した小資本コミュニティ放送局の運営実態 : 大館放送, 新庄コミュニティ放送, ほんじょう FM の事例から. コミュニケーション科学 (東京経済大学), 59, pp. 15-25.

謝辞

本稿は, 筆者がおもに 2023 年度に取り組んだ, 文献調査, 聞き取り調査の成果を踏まえている。本稿において明示的に言及されていない諸団体関係者の方々を含め, 現地調査にご協力をいただいた皆さんに, 深く感謝を申し上げる。

本研究には, 2023 年度の東京経済大学個人研究助成費 (23-32) 「コミュニティ放送局への行政の支援に関する調査」, および, 2023 年度・2024 年度の東京経済大学個人研究費の一部を用いた。

本稿の内容の一部は, 2024 年 5 月 18 日に東北大学で開催された東北地理学会春季学術大会において口頭発表した (214 「臨時災害放送局から移行新設された三陸地方の公設民営型コミュニティ放送局」)。